

シニアのシニアによるシニアのための会報誌

ちゃらんぽらん

かわら版

特集「終の棲家は、どこにする」

座談会「日本か米国か」

心がホッコリする話

チャランポランエッセイ

ジャーナリストの目

素敵な人見つけた！

2019

2号

令和元年11月1日



チャランポランの会は何をする会？

チャランポランの会は、シニアを応援する会です。

- ① 会報誌「かわら版」を通して、シニアの方々を元気にしていきます。
- ② 会員同士の交流の場を提供し、楽しみや生きがいを持てるようにします。
- ③ シニア向けの講演会、イベントを開催していきます。

会員になるには？

原則シニアの方であれば、どなたでも会員になれます。別紙の入会書に必要事項を記入し、チャランポランの会まで郵送して下さい。なお、入会書がない場合は ① 氏名 ② 住所 ③ 電話番号 ④ かわら版を何でお知りになったか ⑤ 出身地 ⑥ Eメールアドレス（オプション） ⑦ 生年月日（オプション）をお書きの上、チャランポランの会まで郵送して下さい。Eメールでお申し込みの場合も上記の内容（①～⑦）を忘れずにお書き下さい。

【郵送先】 CharanPoran USA
22301 S. Western Ave. Suite 104
Torrance, CA 90501

【Eメール】 charanporanusa@gmail.com

会 費：2020年4月末日までに入会の申し込みをされた方は
2020年度の会費はありません。

会員の特典は？

1年に4回発行される会報誌「かわら版」が届きます。
講演会やイベントなどに会員特別価格でご参加頂けます。

「かわら版」への投稿方法

- 川柳：お一人1句 ● 読者の声：200字以内
- エッセイ：約750字

住所・氏名・年齢・電話番号を明記。郵送、又はEメールでお送りください。なお、紙面の都合で内容を割愛、又は一部編集させていただく場合もございますのでご了承下さい。なお、投稿が多数の場合は、チャランポランの会で選定させていただきます。

「かわら版」へのご意見ご感想

ご意見、ご感想をお気軽にお寄せください。CharanPoran USA迄郵送いただくか、又はEメールでお送り下さい。今後の会の参考にさせていただきます。



会 の 名 称 『チャランポラン』

私達、発起人は二十代から六十代まで長い間、一応真面目に仕事し、子供を育て、一社会人・一家庭人としてそれなりの責任を果たして来ました。ふと気が付いて見ると、もう高齢者です。昔の元気はなく、体力も落ちました。これからの人生をいかに生きるかと考える時、やはり明るく元気に過ごしたいものです。それには今までの常識の枠を離れ、自由な新しい発想や考え方で生きるのが良いのではと思います。

その理想が「チャランポラン」です。一見、「真面目や責任」とは対極にある考えのようですが、今まで以上に豊かに生きるために必要なキーワードかなと思います。認知症防止のためにも、是非皆さん、一緒に楽しく、チャランポランに生きましょう！



チャランポランの会

■ 発起人

鳥居欣一、雲田康夫、高山秀男、鶴亀彰

■ かわら版／編集

北村亜矢、佐伯和代

CharanPoran USA

22301 S. Western Ave. Suite 104
Torrance, CA 90501 USA

☎ 310.347.7300

Email: CharanPoranUSA@gmail.com

www.CharanPoranUSA.com

2020年1月15日「かわら版」新年号、発行予定！



心がほっこりする

ほんとうのお話

エディ・ブルックスは1918年にサンペドロで生まれ、1938年にサンペドロ高校を卒業した。サンペドロ高校は1903年に創立されたが、校庭からはターミナル・アイランドやロサンゼルス港、ロングビーチ港が見下ろせる。同校にはターミナル・アイランドから多くの日系二世達が毎日フェリーで通っていた。全校生徒の二割は日系人だった。当時は日系人排斥の時代だったが、大人の世界とは無縁に若者達はお互いに仲良く青春を謳歌していた。

当時ターミナル・アイランドにはまるで日本の漁村が引越してきたみたいに、3千人余りの日本人一世や日系人二世が住んでいた。マグロ漁業や缶詰工場勤務などで生計を立てていた。和歌山県や静岡県からの出身者が多かった。エディは8歳から始めたボクシングで、高校でも有名だった。日系人の同級生から柔道を習ったり、空手を習ったりして、親しく交流していた。一人の日系人の女生徒とも付き合っていた。

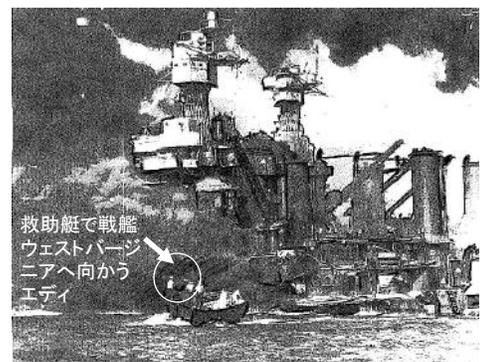
しかし、1941年12月の日本軍の真珠湾攻撃が全てを変えた。高校卒業後、米海軍の一兵士としてハワイにいたエディは日米戦争の真っ只中に叩きこまれた。米海軍でもボクシング・チャンピオンだったエディは攻撃前日の土曜日、戦艦アリゾナでボクシングのコーチをしていた。ボクシング仲間

達と気持ち良い汗を流した後、夕食を楽しみ、その後の映画も楽しみ、夜遅くに自分の船に戻った。翌日の日曜日仲間達とボクシングを楽しむ予定だった。

ところがわずか10時間後、戦艦アリゾナは沈み、親しいボクシング仲間も全員死んだ。郷里のサンペドロ時代から幼馴染だった親友も戦死した。エディは燃え盛る戦艦ウエストバージニアの乗組員たちを救い出すために4人の仲間と一緒に火の海の中を救助艇で向かった。漏れた重油が襲え、空からゼロ戦からの機銃掃射が襲う中、海面に浮かぶ水兵達を救助した。エディは日本への復讐を誓った。エディの戦いはその後もガダルカナルなど南の島で続いた。

だがエディは戦争の最中でも青春の時と一緒に過ごした日系人との友情、そしてチズルという女生徒との愛情の日々を忘れることはなかった。戦争が終わり、エディは郷里に戻ったが、ターミナル・アイランドから日系人の姿は消えていた。

それから60年余りの歳月が過ぎた2005年、思わぬ偶然の結び付きで、エディは高校時代の仲間との再会を果たした。それは2004年8月1



5日の地元の新開デイリーブリーズのある記事のお陰だった。

その記事は3歳の時に潜水艦乗りの父を失ったある日本人が父を求めて調査の旅を続け、その結果、父の潜水艦が沈めたオランダの潜水艦乗組員の遺族や、逆に父の潜水艦を沈めたイギリスの潜水艦の艦長と出逢い、和解し、深い友情を結び合っている記事だった。その記事に感動したエディはその日本人に連絡を取り、真珠湾の悲しみを忘れないように長年大切に保存していた日本軍の銃弾をその日本人に渡した。彼は86歳になっていた。

ところがである。その日本人がエディのサンペドロ高校の同級生たちを探し出して呉れたのである。チズルとも再会した。エディはその翌年2006年に87歳で亡くなったが、今はラITCHO・パロスベルデス市のグリーンヒルズ・メモリアルパークに眠っている。そこには日系人のお墓も多い。きっと高校時代の仲間も一緒に眠っているかも知れない。そこからはターミナル・アイランドも良く見える。



再会したエディとチズル

行動するシニアをめざして！

鳥居 欣一

かわら版に寄稿してくれた北岡氏が、我が富士の家に遊びに来てくれました。日大教授時代に知り

合ったというオカリナの先生と一緒にでした。まず、北岡氏のリクエストで田子浦の海岸へ行きました。そこには、万葉集で詠まれた山部赤人の碑が建てられており、北岡氏は感慨深げにじっと読まれています。あいにく台風の接近で雨が降り出し、海岸散策もそこで家に戻りました。いつもは

家からバッチリ見える富士山もその日は雨のせいで見えず、とても残念そうでした。

その夜は三人で「魚や」という店に行き食事しました。金目鯛の煮つけ、サザエの壺焼きを肴に、北岡氏は冷酒を一杯とても美味しくそうに飲まれました。今回寄稿して下さった「三屋清左衛門」の話に花が咲きました。北岡氏の今の心境は、正に三屋清左衛門そのものだと思います。つまり、与えられた人生を淡々と、尚且つ有意義に生きることに徹しているのです。決して虚勢を張っているのではなく、北岡氏の場合「本物」です。話題が悲観的に傾こうと動ずる隙はありません。人間、本当に「生き様」こそが大切なんだと、身に染みて分かりました。

《 終の棲家 》

さて、長年アメリカで生活してきた日本人が、故国日本に戻って老後を送るといふケースが昨今増えています。私もまだ70歳

そこそこの頃は、このまま生涯アメリカで、と考えていましたが、ここ十年ほど、どうしようかと悩むようになりました。私が出した答えは日本です。理由は今号の特集、座談会『終の棲家は日本？アメリカ？』をお読みになって下さるかという問題は、在米日本人、特にシニアには深刻な課題です。座談会の内容は、今悩んでいる方にきつと参考になると思います。

《 日本は超少子高齢化 》

今、日本は超少子高齢化が続いています。このまま進めば、人口が一億人を切るのも時間の問題でしょう。現在、65歳以上の人口は3500万人、三人に一人が65歳以上の時代に突入するの間近でしょう。戦後のベビーブーム時代(1947〜1949年)に生まれた、いわゆる「団塊の世代」の人達が後期高齢者(75歳以上)になるのも、ほんの数年内です。1947年から1949年の

三年間に、800万人もの新生児が生まれました。現在は、2017年では95万人弱、2018年では92万人弱しか生まれていません。団塊の世代の年平均267万人と比べると、約三分の一です。

100歳以上の人が7万人を超えました。めでたいことですが、医療問題、介護問題など、果たしてどのように乗り切るのでしょうか。まだ的確な対策がなされていないような気がします。今は良いが十年後は？と考えると、政府任せではやり切れないのではないかと大変危惧しています。食糧問題や環境問題も考えなくてはなりません。今の日本の現況をみると、多くの人が楽観論に傾いています。今こそ3500万人の有志達が、日本再興の一役を買う時ではないかと思っています。

《 夢と希望を持って 》

確かに、我々の年代はよく働きました。私がアメリカに来た当時は、円ドルの取り引きにも枠があったような時代で、高価なドルはとても大切でした。私の役職は支社長といえども薄給で、私がこちらで雇った事務員と同額でした。戦後でありながら、まだまだ「欲しがりません勝つまでは」を

北岡氏と山部赤人の碑



強いられた時代です。しかし、アメリカには夢と希望がありました。この国で本当に損得なく働くことが出来ました。トランク一つで太平洋を渡り、後にはマイホームを持つことも出来ました。ましてや「終の棲家」をアメリカにするか日本にするかなど、生意気で賢いな悩みでしょう。

《 ゴミ拾い 》

大袈裟かもしれませんが、「欲なし、夢無し、やる気なし」の若者に対して何か出来ることはないかと考えています。「チャランポランの会」もそんな気持ちを抱く仲間が集まって出来ました。何をするようにという具体策はまだありませんが、とにかく出来る事からやろうということで、今回初めて「ゴミ拾い」に参加しました。今、プラスチックごみが海に流れ込み、魚の生態系に大影響を与えています。ゴミ拾いもさることながら、無駄なゴミを出さないようにすることが大切です。70億の人が、毎日ピンポン玉一つくらいのゴミを出さないだけでも、すごい量のゴミを減らすことができます。ゴミ拾いは、その意志さえあれば、いとも簡単にできるものです。小さなことを積み重ねていくことで、何か社会の役に立てればと思っています。仲間を募って

今後も続けていきたいと思いません。

《 日本の近未来 》

「21世紀が日本人最後の世紀」にならないように、やはり私は故郷日本に帰ることを選びます。日本の近未来を左右するのは若者よりも、先ず3500万人の高齢者、私達なりに出来ることが絶対あると信じています。とにかく、行動するシニアになりましたよ！

特に、シニアの中でも圧倒的な人口は、前述したように団塊の世代の方々です。この人達は日本再興のために尽くされた方々で、私はそれを目の当たりにしています。今一度、奮起し余生を謳歌してもらおうと同時に、日本の未来のために頑張ってほしいと願っています。



僕の本棚



最近、めっきり目が弱くなり読む速度が遅く、この調子で行くと、あと何年読書ができるだろうかと考えてしまいます。脳と目は連結していて、眼を酷使することは脳を疲れさせると言われています。そんな心配をしながらも読書をしていきます。

今月は、北岡氏推薦の藤沢周平の「三屋清衛門 門残日録」を読み「生き様」というもの大切さを知ることができました。この本を読んで、急に正岡子規の「病床六尺」「仰臥漫録」「墨汁一滴」の三部作を本棚から取り出して読み返しました。何度読んでも、子規の「無類の明るさ」に驚かされます。

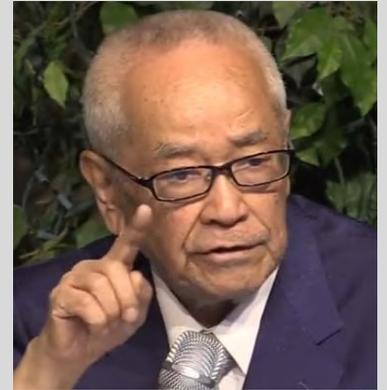
不治の病ありながら、こんなにも明るく生きられるものでしょうか。35歳の短い一生で「仰臥漫録」に記述されている食欲は凄いです。

この食欲が「生きる意欲」に繋がっていたのだらうと思います。この本を読むたびに「生きる活力」をもらっています。夏目漱石と共に正岡子規の本は僕の大切な本です。

ゴッホの書簡集も座右の書としています。僕はゴッホが描いた絵画より、この書簡集の方が好きです。「こんなにも純粹に人間は生きられるのか」と思うからです。



ジャーナリストの目



北岡和義

1941年岐阜県生まれ、南山大学卒。読売新聞記者、国会議員秘書を経てフリージャーナリスト。1979年渡米。ロサンゼルスで邦人向け放送局「JATV」を設立。2006年帰国し、2016年迄日本大学国際関係学部特任教授。著書に『13人目の目撃者』『海外から1票を～在外投票運動の航跡』『政治家の人間力』など。

隠居した武士の「生き方」に光

藤沢周平著『三屋清左衛門残日録』

■三屋清左衛門残日録：藤沢周平/文春文庫

藩主の用人を勤めた後、隠居した主人公が藩の様々な仲裁に駆り出され、謀略に巻き込まれながらも解決する。老いた身を襲う悔恨や寂寥感。老いゆく日々の命のかがやきを、見事に描いた長編。ドラマ化もされた。



◆ 高齢者の生きざまを小説の主人公に託す

何回読んでも面白いのは直木賞を受賞した『暗殺の年輪』だが、『三屋清左衛門残日録』を敢えて勧めるのはぼくら高齢世代の最大の課題がこの小説のテーマだからだ。

余命いくばくか。ぼくら高齢者の生きざま（それは決して「死に方」ではない）を藤沢周平は隠居武士・清左衛門に託している。

生涯続けてきた城勤めを息子に託し隠居する。時間と少々の金はある。自分と共に生きてきた同世代の仲間の生涯を重ね合わせるとヒヤリとするようなものがある。

青春時代は道場で剣を鍛え師範格となった。城勤めもそれ相当に武士の位を上り詰め、生活には困らない。「何もしなくてもいい」と言われる隠居生活の呆とした、視点の合わない生活にイラつく。

派閥争いで脱落したライバルの自尊心と僻み、足腰が弱って立てないがなお歩こうと庭で嫁の肩に手を置きリハビリをする隣人。清左衛門はそうした友人、知人ら高齢者群像を痛く眺め、彼らの像の中に自らの「生」の光を見る。

友人の山荘は標高1100メートルの八ヶ岳山麓にある。東京のうだる暑さから逃げるように八ヶ岳に彼を訪ねた。JR小淵沢駅が奇麗に全面改装されていた。空気が乾いて涼しい。生き返る思いがする。久しぶりの彼も山荘も変わらなかった。

彼は慶応大学を出た後、UCバークレーに留学し日本の銀行員となった。サンディエゴとニューヨークとポストンと異動し、国際金融の仕事で長年アメリカでやって来た。

1979年9月に渡米してぼくは初めてLAを出てサンディエゴまでドライブした。まだ右側通行に慣れていなかったのだが、広いフリーウェイのドライブは快適だった。同年齢の東京の友人の紹

介で図々しく訪ねた。それ以降、家族とも付き合って40年になる。その彼が膀胱ガンとなり、肺に転移して最近、入院して手術を受けた。「国際財務」という仕事でどんな内実か、知る由もない。でも仕事は違っても生きてきた時代は大なり小なり同じなので、関心事はそう違わない、とも言える。

◆ 藤沢周平という作家

その彼が「なにか勧める本はないか、北さん」と訊く。

すぐぼくは答えた。

「藤沢周平の『三屋清左衛門残日録』が面白いよ」

ぼくがもともと好きな作家は城山三郎と吉村昭、司馬遼太郎だが、抜群に上手いと思うのは藤沢

周平。山形県の出身で2年間の教員生活の時、結核に侵され6年余、療養生活を送った。30歳のころから業界紙の記者をやりながら小説を書き始めたが、もつとも輝かしい青春を病院のベッドで過ごした、という引け目が彼の人間観を豊かにしている。

1997(平成9)年1月26日東京・新宿の国立国際医療センターで肝不全のため死去した。69歳だった。

井上ひさしが「数少ない小説職人のひとり」と言ったそうだ(文芸評論家・清原康正)彼の作品はまさにいぶし銀のような渋い光を放つ。市井もの、武士もの、評伝、捕り物シリーズ……。文章表現が微細で丁寧を書く。そこに人間の哀切が表現される。



雲田 康夫

物事には順序がある

馬齢を重ねて78歳。この歳になると甥や姪がボツボツ結婚する者が出て来て案内状届く。

アメリカの結婚シーズンは一般にJune Brideと言って6月。日本の結婚シーズンと言えば秋か春と決まっている。それがまだ残暑が残る9月に甥が東京で結婚式をすると言う。昔なら何処かのホテルの宴会場での披露宴と思っていたら、今の若い人らしく代官山の洒落たレストランが披露宴会場で、媒酌人も置かず、新郎新婦の友人、知人が集まり、心から二人の門出を祝う、手作りの披露宴をすると言う。

披露宴は新郎の大学時代のバンド仲間が集まりその場を盛り上げ、次々と友人達のお祝いのスピーチが続く。二人の出会いを暴露したり、エピソードで祝宴は最高潮に達した。いよいよ新郎新婦初めての共同作業、ケーキカットの時が来た。

顔面幸せ一杯のご両人はひな壇から、新郎が新婦の手を添えて、ゆっくりと、背丈の倍もあり

ような何重層にもなるケーキに向かって歩み寄る。リボンのついたナイフで音楽に合わせて入刀されると、大きな拍手が会場に響き渡る。



私達夫婦は昨年結婚式を終えたばかり。50年前の結婚式を思い出しながら目の前の新郎新婦をジーと見つめていた。

「あれ！新婦のお腹周りがチョット大きくないか？」言葉を飲み込んだ。

ようやく合点がいった。新郎の父親は同じテーブルなのに、どうもそれほど嬉しそうな顔じゃないのだ。新郎の父親はどちらかと言うと、今風のお父さんではなく昔気質で筋を通す堅物の人。出来ちゃった婚“を極端に嫌うタイプに見える。

披露宴は終盤に差し掛かり、定番の新郎新婦からそれぞれのご両親へ花束が贈呈され、両母親の目にはハンカチが添えられると、出席者までがつかれて目頭を熱くする。親族を代表して 新郎の父親がマイクを握って謝辞を述べる時マイクを持つ手が小刻みに震えていた。

「健太、史織さん、おめでとう！二人で力を合わせて良い家庭を作って下さい。」ここまでは結婚式の定番のお祝い言葉。そして続いた。

「人生の経験者として、人生の門出に二人に申し上げたいことがある。」

「物事には順序がある」と言うことを理解して欲しい」と結んだ。含蓄のある言葉だった。

愛する息子に心から贈る言葉であった。出席者の子供持つ親達はその意味するところは間違いない。理解した筈だ。「良くぞ言ってくれた！祝いの席で言にくい事だが人生にとって大切な事」私は心から新郎の父親の結びの言葉に賛同もし、感動したのだった。複雑な気持ちで帰途に着いた。

TVチャンネルを回して仰天した。将来の総理大臣有力候補と目される評判の小泉進次郎衆議院議員(当選連続4回 38才)が婚約者 滝川クリステルさんを連れて首相官邸へ出向き、菅官房長官に二人の婚約を伝えたと言う。そして同時に来年春に出産予定、とも。画面大写しで二人微笑んでいる。

「おいおい、ちょっと待ってよ。個人の婚約を何故に首相官邸に報告しなければならんのよ！婚約なんぞは、両親と親族親友に伝えれば良いだけじゃないの？」

「公私混同も甚だしい。貴方に日本の将来、運命を任せられないよ。」とつくづく思った。

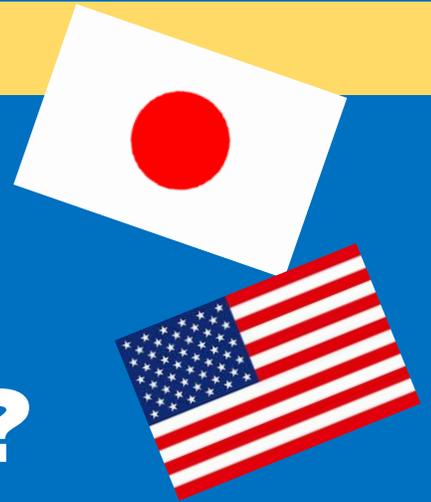
そしてニュースは続く、今回の組閣で、環境大臣を指名されたという。それはおめでとうと申し上げたいけれど、せめて文部大臣の指名でなかったことだけは幸いであった。少子高齢化だから、「子供は沢山産み育ててく下さい」との国策であったにせよ「物事には順序がある」は年寄りの冷や水であったらしい。

やっぱり結婚そして出産というのが順番と思うのだが 時代は変わってしまったらしい。寂しい。

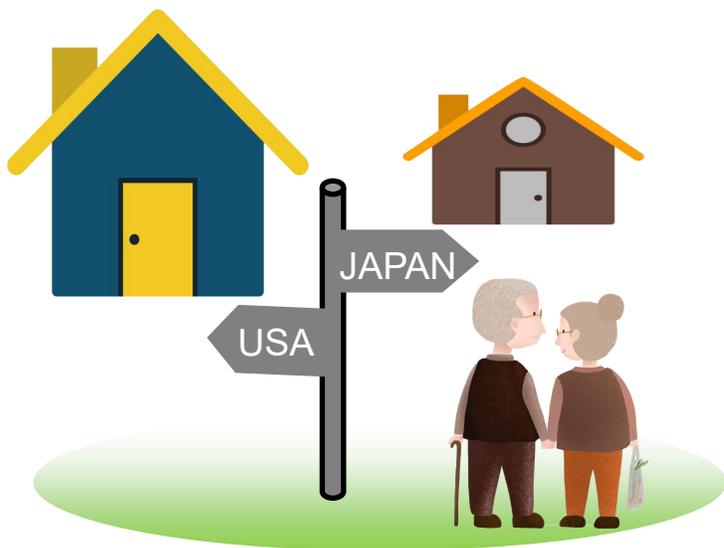


終の棲家は

日本？アメリカ？



年齢を重ねると共に、米国在住の日本人ならば誰もが一度は考える終の棲家。このまま米国を安住の地として残るのか？それとも日本に帰るのか？座談会にご参加頂いたのは南カリフォルニアにお住いの在米歴30年以上の方々です。



座談会参加者

- とりに きんいち
■鳥居 欣一 在米歴：56年 出身地：静岡県
- くもだ やすお
■雲田 康夫 在米歴：35年 出身地：樺太（現サハリン）
- つるかめ あきら
■鶴亀 彰 在米歴：53年 出身地：鹿児島県
- ふくしま あつこ
■福島 厚子 在米歴：45年 出身地：富山県
- たけいかよこ
■武居 嘉与子 在米歴：50年 出身地：東京都
- しみず このむ
■清水 好 在米歴：36年 出身地：島根県
- なかむらきょうこ
■中村 恭子 在米歴：62年 出身地：東京都

雲田 今日、最終的にどこに住むか？ということテーマに話し合いたいと思います。将来、日本へ帰る方、このまま米国に残る方、迷っている方、それぞれだと思えますが、座談会の終わりには考えが変わるかもしれませんよ。

鶴亀 先ず思うのは、こういう話ができるのは幸せだと思わね。日本と米国の両方の選択があるので。人生様々、皆さん色々な経験をされてきたと思います。それを踏まえて、僕はこのままこのアメリカの地で死のうと思っています。日本に帰って仲間とワイワイするのもいいが、両親はいない、妹が一人おりますが、僕がそばに居なくてもOK。ワイフも子供の頃からLAなので、此処に居た方が無理がないんです。

鳥居 僕は日本へ帰ります。日本へ帰ることを考え始めたのは65歳を過ぎた頃で、それまでは考えてもみなかった。年と共に望郷の念が沸いてきたんです。それと、子供に縛られた一生は嫌ですからね。ワイフは残るみたいですけど。

福田 望郷の念って、どういう意味ですか？一年に何度も帰国されていても、望郷の念が起りませんか？

雲田 僕はわかるなあ、その気持ち。旅行と住むのとは違んです

よ。
福島 では、私はまだ若いのかしらね。(笑)
私には姉が居たのですが、その姉も他界し、叔父、叔母、従妹、その他親戚もいますが、随分と年数もたち、私が日本に住んでいた時のファミリーのままではないんです。何て言ったら良いか、うまく言えないのですが、時と共に人も変わっていきますから。

主張できない日本人

武居 日本はいいと思うのですが、出る杭は打たれるんです。私たちはもう出てしまってますからね。

福島 出る杭は打たれるけれど、出過ぎた杭は打たれないのよ。だから私はね、自分を奮い立たせて少し出ている杭を、もっと出そうと意識的に頑張っています。する



と叩かれないから。

武居 それに、日本に帰ると孤立してしまうと思います。既にグループができてきているので、なかなか、グループに入れない、入れてもらえない。女性の意地悪というのは男性の意地悪と違うんですよ。ちよつと陰湿なんです。

福島 でも、本当に意地悪なのは男の人だと思います。だって社会経験が長く、コネクションもあって、お金もあって、地位もある。あらつ、これは関係ないわね。失礼しました。(笑)

武居 私はこちらで行われる日本の施設の説明会やセミナーに行つて資料をいただいでくるのですが、経済的なことよりも、日本の施設に入居した時、その頃は年齢的に、あまり外にも出ないでしょうから、施設で過ごすことが多くなると思うんですね。なのに、既に入居されている方々に受け入れてもらえなかったら、村八分みたいになってしまうのが嫌なんです。私は皆さんに合わせることもできないので。

雲田 アメリカに長くいると、自己主張できて、人に合わせなくともやっていきますからね。
武居 勿論、私は両方の国の文化を知ってますよ。日本では自分を殺して波立てない世間体という言葉がありますでしょ。アメリカに

はそう言う言葉はないですから。
清水 私は今から10年くらい前に3年近くアメリカと日本を行ったり来たりして、悩んだ末に日本に帰りました。でも、日本に帰ってしばらくして、やはりアメリカがいいなと思つてこちらに戻つてきてしまいました。そこで、又考えました。自分は後少しで定年なんです。その後のことを考えると、自分が何をすべきかということとを考えたんです。病気になつた時は日本がいいとか色々ありますが、自分の活躍できる場はどちらかと考えたら日本だと答えが出たんです。

鶴亀 今の清水さんのポイントはとても大切ですね。僕らは死ぬまで、どういう生き様を送るか、生き方をするか、何をするか、自分の天命は何なのかを考えると、清水さんのように、それが日本だと思ふ人もいれば、アメリカだと思ふ人もいるということですね。

福島 私の場合はアメリカにいるメリットもあるんです。日本に行つて、アメリカ在住だからと言って叩かれる時もあるけれど、アメリカ在住だからすごいと思われることもあります。

言葉の壁

雲田 僕は駐在員でアメリカに来ました。現在の心境は日本に帰り

たいと思つています。理由の一つに言語があります。病院もそうですが、ニュースは真剣に見ないとわからない。日本にいたら、TV画面をみなくても、何かしながらでも日本語は入ってくるし、よく理解できる。

福島 言葉の問題は確かにありますが、私はジェネレーションギャップの方が大きいんです。私が日本にいた時と、今の日本はすごく違います。流行語も違うでしょう。日本人なのに、今の流行りの言葉を使われたら理解できないわ。アメリカだと、100%理解できなくても、又理解されなくても、諦めに似たものがあるので気にならないです。

鶴亀 しかし、一般的に言葉は大きいですね。何十年住んでいても、コミュニケーションは言葉ですからね。

雲田 そう、コミュニケーション。日本の方が女性と気軽に話せるのがいいね。此処はアメリカ人とメキシコ人が殆どだから、その人達と心を割って話せないし、口説けないよ。これが僕にとっては不満だ(笑)

福島 女性を口説くのは言葉だけではないですけどね。

鳥居 僕も言葉の問題は大きいと思うね。政治的な面でも感ずるんですよ。こちらでは全く政治に関



与できない。市民権を持っていても言いたいことが言えない。僕の人生の7割はアメリカなんです。が、やはり此処は異国ですね。日本語だったら私の考えや思いを全て言えたのに。いうことが何度もあります。英語で相手を言い含めるなんて無理ですよ。

鶴亀 鳥居さんが言っているのは僕らはいつまで経っても二級市民という意識を持つということですね。日本に行ったら一級市民ですから。

鳥居 そうなんです。一級市民とまでいなくても、発言力さえあれば国の為に少しは役に立つ気がするんです。

雲田 それは大きいね。特にビジネスをやってきたら感じるね。

本当の友達

雲田 僕は40年間ビジネスマンをやっているのですが、本当の意味での友達ができなかったんです。ビジネス上では、上辺だけで

何とかなりますから。日本では、どんなに繕っても、私の小さい頃を知っている友がいますので、自分を飾らず、素直に出せる。そんなことを思うと日本だな。そういうことで日本に帰りたと思うっています。勿論、此処でも友達はいけるけど、なんとなく、袴を着ているような気がする。もう少し、人間らしい付き合いをしたいと思っ

ているんです。

鳥居 僕の場合だけど、完全にアメリカ社会に入っていない。文化的な面もそうで、美術館へ行ったり、音楽、オペラなども鑑賞しているけれども、まだ足りない。それと、雲田さんの言うように本当の友達ができにくいのもある。あと、医療に対する不安や経済的な面など、アメリカにいるのと日本にいるのでは、どちらが良いか考

える必要があるね。

中村 私は1958年に渡米し、最初はラスベガスへ行きました。あれから62年です。日本をあまり

り知らないまま、出てしまいましたので、終の棲家となれば日本です。日本には素晴らしいところが沢山あります。ですから、北から南まで、行ってみたいところがいっぱいあって、今から本当に楽しみです。

雲田 それに食べ物は日本だね。

食べ物・運転免許

日本食は、当然だけど日本。どこのお店でも美味しいよ。

福島 それはわかりますが、日本に行つて天ぷらが美味しいと言つても1週間も同じものを食べていれば、飽きますよね。私は家でお野菜や果物を作っているし、ロサンゼルスは結構日本食もあるので、あまり食べ物に対しては思わないんです。

鶴亀 やはり、女性より男性の方が日本の昔の懐かしい家庭料理に惹かれるのかもしれないね。魚は日本が美味しいですよ。金目鯛の煮つけやサザエのつば焼きなんかは最高ですね。

鳥居 皆さん、将来運転免許を返そうと思いませんか？

鶴亀 僕は全く考えていない。死ぬまで運転するつもりです。

鳥居 健康上の理由か何かで、運転できなくなることは考えないの？

鶴亀 運転のことで日本への帰国を考えるなら、もう少し待ちなさいと言いますね。その内、自動運転の車ができますから。

鳥居 確かにそうだけど、僕らにはハイテク過ぎてどうかなあ。

福島 でも、車の運転ができなくなるというのは、大体85歳過ぎくらいですから、鶴亀さんはまだ

大丈夫でしょう。

鳥居 えっ、そうだと僕は後2年しかないよ。85歳は困るなあ。もし、自分でドライブできなくなつたら、絶対に日本のインフラの方がいいですね。此処は車がなければどこにも自由にいけないので。

福島 ウーバーもありますよ。

鳥居 ウーバーがあつたとしても僕の友達には施設に入りましたよ。立派な施設なんですけど、自分で自由に行動できないのはとても残念です。総合的に考えても、年を取るほどに、アメリカの方が行動がしにくいと思います。その点、日本は交通機関がいいですね。

介護施設

鳥居 介護施設はどう思いますか？アメリカの介護施設に入つてもいいという人はいますか？

鶴亀 積極的に入りたいとは思わないけど、仕方ないと思つてますよ。だけど、僕はあと2年ほどで死ぬ予定だから、心配してません。(笑)

福島 私は介護保険に入っているので自宅に来てもらいます。だからあまり心配してません。この間、LAの「さくらガーデン」に行つてきたのですが、結構よかったですよ。自由に出入りでき、ショッピングにも車を出してくれ

るんです。

武居 私も先日、ある施設に見学に行ってきた。とてもきれいで立派なのですが、東洋人が少なく、日本人はいなかったと思います。ウォーカーを使っている人が多かったですね。それでもいいのですが、入居されている方の表情が皆無表情なんです。ダイニングも、ライブラリーも、ゲームルームもあるんですよ。でも、入りたいたと思わなかったです。

福島 仮に日本に帰っても、歩けなくなったりしたら、ナーシングホームに入ることになり、結局は同じではないかと思えます。

中村 私は、今元氣だからかもしませんが、全く考えていないんです。その時になって考えればいいかと思つて。

鳥居 僕は絶対に介護されるのが嫌ですから、日本に帰っても施設に入るという選択肢はないです。人間は生まれるのは余儀なくされるけど、死ぬのは自死があつていいのではないかと思つているので、極力施設には入らないようにしたいと思つているんです。

気 候

福島 日本の気候はどうですか？あの蒸し暑さに耐えられますか？

鳥居 昨日帰ってきたばかりですが、東京の蒸し暑さは酷いです

ね。昔は30度を超すなんてことは、あまりなかったんですけどね。その点、此処の気候は最高だね。

福島 日本の蒸し暑さは異常ですよ。それでも皆さんは日本へ帰国する派ですか？

雲田 そうだなあ、先日の日本の台風と暑さのことを考えると、アメリカに残る派に心が動くね。清水さんは？

清水 気候に関していうと、僕も先日、東京に行ってきたのですが、東京はとても暑いのに、島根はとても涼しいんです。僕は出身が島根なんです。気候が変わりましたね。僕がいた頃の島根県は雨が多く、湿気があつて大変なところだったので、本当に気候が変わりました。だから、どこに行つても地球温暖化で、気候は変わるということですよ。僕は今ロサンゼルスですが、仕事でよくラスベガスに行きます。ラスベガスは滅茶苦茶暑いですよ。同じアメリカでも、この南カリフォルニアは最高の気候ですね。だから、それを考えると、どうかなあと思うので、とりあえず、気候のことは忘れようと思つています。

福島 私は、とにかくアメリカ、特にロサンゼルスが最高！それに、自分の考えを遠慮せずに表現できる。そして、学生を卒業

してすぐに来ているので、もうこちらの生活に慣れてしまつていくということですね。

雲田 福島さんの場合は絶対アメリカだね。

鳥居 でも、日本は梅が咲く、桜が咲く、情緒がありますね。

気遣いと自由

雲田 アメリカは服装が自由なのがあるがたいね。日本で僕くらいの年の人がTシャツに短パンで歩いていたら変なおじさんに見られるよ。

鳥居 でもね、ワイフに言われるんだよ。年を取るほどに身だしなみをきちんとした方がいいと。

雲田 それにしても、アメリカは自由だなあ。

鶴亀 それぞれ国情というものがあつていいですか。どこかに書いてあるわけではないけど、アメリカの国情は自由とか、人に干渉しない、云いたいことを言える。そういう国情を良いとするか、日本みたいに、はっきりものは言わないけれど、遠慮して譲り合うとか、犯罪が少ないとか、優しさを感ずるとか、安心して暮らせるとか。一般的に見た時、草食動物的というか優しいですよ。勿論アメリカ人にも、大きな優しさはありますよ。若い時はアメリカの肉食の優しさがいいけれど、年代に

よつて違つてきますね。

武居 それに、日本はいたるところで気遣いもなくなってはいけないでしょ。例えば、看護婦さんや、お医者さん、施設の担当の方にギフトを差し上げるなど。それが面倒。

雲田 僕のワイフは日本に帰らない言つてます。それは、お祝いのやりとりで御中元、お歳暮など色々親戚づき合いが面倒だということです。僕は、それが人間同士の絆を深めると思ふんですけどね。ワイフはアメリカに残る、僕は帰るです。

中村 私は全く気にならないですね。お世話になつたらお返しは当たり前で、アメリカに居ても日本のお世話になつた方には毎年何か贈つていきますよ。

鶴亀 僕のワイフが云うには、自分が日本に帰ると浮いてしまうというんです。自分は思ったことを遠慮なく云うので、そういう人



は浮いてしまいうらしいです。
鳥居 日本人女性にとつては、親戚付き合いや日本の古いしきたり等に悩まされることがなく、天国なんだと思いますよ。

家族・友達

武居 子供たちがアメリカに居るので側に居たいというのもあります。何かあった時には来てくれませから、ありがたいです。

雲田 僕は全くそういうのがないね。ちょっと会えるだけでいいよ。

鳥居 僕には妻も子供も孫もいません。薄情かもしれませんが、家族から反対されても「終の棲家」は日本ですね。「故郷は遠きにありて思うもの」といいますが、本当にそうかなあ。僕は、故郷とは、いずれは帰って生活すべき所だと思えますよ。

中村 私にも息子と娘がいますが、それぞれ立派に育ってくれて、家族を持ち幸せです。何の心配もないですし、此方に居たら子供たちの邪魔になってしまうかも知れませんから。

鳥居 子供たちは、日本へ行くことに対して何も言わないですか？
中村 子供も孫も、「日本に遊びに行けるから嬉しい」と云っていますよ。

福島 私には子供がいないのです

が、仮に主人が亡くなって私が一人になってもこちらですね。もう、45年住んでいるんですよ。友達も、慣れた人達というほうが心地よいし。日本に帰っても昔の友達は居ますが、環境や状況が違うので、話が合わない。かといって新たに友達づくりをするのは大変です。

雲田 男はこの年になると、過去に生きるようになるよ、未来はないね。

福島 男性は自分の個性を過去からずっと繋いでいるけど、女性の場合は結婚、子育てなど、それに合わせて変化しなくてはならないから、私知っている昔の誰々さんではなくなっている。

鶴亀 そうですね。女性は年代によつてカメレオンの様に順応しているけど、男はそのまま来ているね。

鳥居 僕はアメリカでずっとビジネスをやっているせいとか、交友関係も限られているけれど、鶴亀さんが此処に残る理由は、今まで培ってきた交友関係が根を張って広がってきたということだと思

う。僕にはそれが無いんだよね。それと、奥さんと一緒にライフワークをしているということ。こんなこと言つては失礼だけど、もし奥さんが亡くなつても、ここに居る？



鶴亀 いや、ワイフが亡くなったから日本に帰りますね。そして30歳から40歳くらい年下の若い人と結婚しますかね。(笑)

清水 やはり、奥さんの存在は大きいですか？

鶴亀 まあ、ワイフとの生活が主だからですね。それから、先ほど清水さんが言っていたように、生きがいですね。今後の生きがいはどこで出来るかですね。清水さんの場合は日本でしょ。僕の場合はアメリカなんです。まだやりたいたことがあつてね、早速今、本の執筆にとりかかっているんですよ。これを此方に居てやり遂げたいと思つているんです。

日本でいたいこと

清水 僕が日本に帰って昔の友達に会うと、皆自分が昔バカなことをやっていたのを知っているから気楽です。自分のことをわかつてくれるんです。その友達は皆「帰つて来い」っていうんです

ね。アメリカ帰りの変わった者が入つてこないよ、田舎は変わらな

いって言うんですよ。
鳥居 今、日本で地方創生にお金をかけていますが、僕はそれを止めて、地方に老人村を作つてはどうかと思ひます。四国の寒村に立派な病院や施設、デパートなどを作り、ある年齢になればそこに移る。1947年から49年の団塊の世代の人達はもうすぐ75歳になりますよ。本当に考えなくては

いけない。
僕は、昔政治を志したことがあつて、とても政治に興味がある。直接政治には関われないので、応援したいんです。特に若い政治家、小泉進次郎さんのような人に期待しています。彼は環境問題だけでなく、高齢化問題を取り上げています。今は大臣になつてしまつたので、発言にも注意しなくてはならない立場なので、何か応援したいですね。これはアメリカでは、無理ですから日本に帰らなくてはならないですよ。

鶴亀 では、清水さんと、雲田さんと、鳥居さんでチャランポランの党を作つてもらつて頑張つてもらいましよう。

雲田 福島さんはアメリカには何か志があつてきたの？それとも男の人を追いかけたきたの？

福島 違いますよ。結婚した後には

来たんですよ。

鳥居 ご主人もアメリカに残る派ですか？

福島 ハイ、主人も私もアメリカです。

福島 雲田さんは日本に帰られて、したいことは何ですか？

雲田 僕は日本に帰って、若い人もお年寄りも元気にしたいと思っています。僕と同じくらいの78歳くらいの日本のお年寄りは、殆どが薬と病院と孫の話ばかり。男でもそうですよ。だから、元気であるなら、自分が経験したことを伝えたいと思い、日本に帰ると北から南まで講演して回っているんですよ。日本語だから、人の心を震わせられる。それもあって、日本に帰ろうと思っています。

鳥居 中村さんは芸能の世界にたわけだけど、日本に帰ってからはのんびりしようと思ってる？

中村 いいえ、私の友達は年齢に関係なく、今でも色々な分野で活躍してますよ。だから、私も友達と一緒にシャンソンやジャズや



タップを楽しんで、高齢者にはボケない体操を教えていきたいと思っています。

清水 アメリカに住んでいて、アメリカ的な考え方をしますが、アメリカで学んだことも多いですよ。だから、僕から日本の悪いところを指摘していけるのではないかなと思っています。

雲田 それは素晴らしいことなんだけど、日本に帰った人たちが云うには、何をしてもアメリカが出るというんだね。会話の中にすぐ「アメリカでは云々」とね。では、では、それを「ではの守」と云うらしいんだけど、どうもそれが嫌われるらしいよ。そのところろは、気を使わないといけないよ。

清水 そうなんですよ。時々友達から言われますよ。だから、気を付けて、なるべくアメリカを出さないようにしています。先ず、意思疎通を図って最後に「清水さんはアメリカにいたんですね」って言われるようにしないといけないと思っています。

鶴亀 僕も講演の時に気を付けているのは、あえて英語を使わないようにしていることです。リザベーションは予約、キャンセルは中止と言ってますよ。

鳥居 僕は鶴亀さんのような人が日本に帰って、日本を元気にしたらよいと思っています。行ったり来たりも良いけれど、いつかは日本に行けなくなるでしょ。

鶴亀 そうですね。いつかは、これが最後の日本行きだと思いう日が来ると思うのですが、その時は淋しいだろうなと思います。

鳥居 今までこうして話してきましたが、皆さんの意見は最初と変わりますか？

雲田 僕は始めは日本に帰る派だったけど、気候のことを考えると、ちょっと残る派に傾いたかもしれない。ただね、僕は日本とアメリカの両方の病院に入院したことがあるんだけど、日本の看護婦さんは言葉も通じるし、親切で、きれいでいいなあ。こちらの人は事務的にバンバンと扱われてしまうから、病気になるたら日本の病院がいいよ。

武居 とところで、日本って、腸の検査の時とか全身麻酔を使わないんですね。

鶴亀 そうなんですよ、胃カメラなんかは部分麻酔ですよ。アメリカは全身麻酔ですからね。

鳥居 でも、全身麻酔で意識が戻らないことがありますから、気をつけないといけないですよ。それにアメリカは医療費が馬鹿高いですからね。

日本か？アメリカか？

雲田 では、まとめてみると、アメリカに残る理由としては、

- ① 気候がいい（南カリフォルニア）
- ② 長年いるので、住み慣れている
- ③ 運転できればどこでもすぐに行ける。
- ④ 自由（服装、発言）
- ⑤ 他人を気にせず生活できる

- ① 言葉が100%通じる
- ② 本心で語れる友達がいます。
- ③ 食事が美味しい
- ④ 医療（統一した保険制度）
- ⑤ 交通の便がいい

鳥居 さて、皆さんの数年後はどうなってるかなあ。

雲田 数年したら、このテーマで又座談会をしましょう。ご連絡しますので、是非集まって下さい。それまで、せめてご自分でドライブできるよう、本日の座談会のテーマを忘れてしまわないよう、体も頭もメンテナンスをしっかりと下さいね。本日はありがとうございました。



アッチャんの 特ダネ旅情報！

神戸から船で4週間以上もかけてサンフランシスコに到着したのは、今から45年前の1974年7月。旅行好きの私達夫婦は、2年間の人生のバケーションと称して親の反対にもめげずに日本を出発したのである。LAに1年、NYに半年、残りの半年でヨーロッパをバックパッカーで巡る予定だったが、神様の思召しで45年のLA生活になる。こんな私達が、相棒の病気発症を機に忘れていた世界旅行を始めたのが13年前。そして今年1月から日本航空（JAL）が入っているワンワールド アライアンスが発行する世界一周旅行を始めた。全日空（ANA）が加盟しているスターアライアンスやデルタ航空も同じようなプランはあるが、色々比較検討した結果ワンワールドのプランを採用。

＝世界一周旅行の概要＝

（世界一周航空券専門家・角田直樹さんの説明書から）ワンワールド アライアンスでは、3つの種類（大陸ベース、距離ベース、複数大陸ゾーン間周遊）から世界一周航空券の運賃やルールを決めている。私達が選んだのは世界を6つの大陸ゾーンに区分した大陸ベース。

【大陸ゾーン】

6つの大陸ゾーンがある。（ヨーロッパ・中東、アフリカ、アジア、西太平洋、北米、南米）

【大陸運賃基本】

訪問する大陸ゾーンの数（3/4/5/6大陸）と搭乗クラスで運賃が決まる。例えば3大陸の場合は、エコノミークラス：335,000円。ビジネスクラス：656,300円。ファーストクラス：1,003,300円。但し、運賃以外に、各クラス共通の諸税およびに燃油サーチャージが加算される。

【大陸間移動ルール】

●ワンワールド アライアンスに加盟している航空会社の運航便であれば、**最小3便から最大16便を最長1年まで**継続旅程を組み入れることができる。（24時間以上の滞在を最低2回必須）

●旅行は、東回りか西回りのどちらか一方向で、太平洋、大西洋をそれぞれ1回のみ横断して、最初の出発空港に戻らなければならない。

●大陸間移動の出発および到着は各大陸において、それぞれ1回に限る。つまり、訪問した大陸を一度出たら、再度戻ることはできない。



アマゾンの夕暮れ



アンデス山中の温泉

【大陸内移動のルール】

1つの大陸内では、最大4区間のフライトが可能。北米大陸のみ最大6区間。

私達の場合、4大陸ファーストクラスで、一人が\$11,641.75。旅程は下記の通り。

①東京→ハノイ→香港→NY→LA→②リオデジャネイロ→サンチャゴ→LA→③ロンドン（乗り継ぎ）→ドーハ（乗り継ぎ）→マドリッド→バルセロナ→ドーハ（乗り継ぎ）→ロンドン（乗り継ぎ）→東京

以上の3回に分けての旅行①の東京出発はLA発よりも安かった。（不思議なことに、同じルートでも出発地によって値段が違うみたいだ。）②の終わりに2回目のLA滞在が可能だったのは、南アメリカのみ例外とされているから。（ラッキー！）この旅程以外に自費で、ハノイ→フェ→ハノイ。香港→マカオ→香港。リオデジャネイロ→マナウス→リオデジャネイロのチケットを購入。

現在②の旅を終えて、LAで真面目に仕事をしながら、感謝祭後の③の旅程を待っている状態だ。このように、期間が1年以内なら途中で旅行を順延してもよし。

追加情報として、私達はワンワールド グループに加盟している航空会社として主にJALを選んだ。JALのマイレージプログラムにはフライトマイルによって、ダイヤモンド、JGCプレミア、サファイア、クリスタルのステータスがもらえ、ワンワールドアライアンス加盟航空会社に搭乗の際にも、チケットのランクにかかわらず、各サービスを利用できるからお得感あり。

以前、旅とは観光したり友人に会ったり買い物したり、現地の自然や歴史、食べ物を楽しむことが主であったが、①②の旅行後は、空港ラウンジや飛行機内での時間やサービスをエンジョイする別の楽しみも知った。来年は、JALのJGCプレミアのステータスの特権も楽しめそうだ。

秘密のアッチャン

▶このサイトも面白いので、ご参考に！

<https://www.myfirstclasstrip.com/entry/JAL-Firstclass>

素敵な人

見つけた

Vol. 2

85歳で渡米

皆様のお蔭で、とても幸せな毎日です。大正10年、1921年生まれ登美子さんは、今年98歳。

ガーデンナ市

阿久津登美子



左から登美子さん、息子、娘3人、ご主人



浅草生まれ 向島育ち

毎日お昼には息子さんの経営するガーデンナの「おたふく」に歩いて通い、馴染みのお客様も登美子さんが顔を出すことを楽しみにして、それはまさに看板娘。

歌舞伎役者であった父、市川鶴之助氏の影響もあり、5歳で向島に移り住んでは、長唄、踊りなども嗜み、街ゆく芸者さん達を眺めながら、父親の希望で将来は自分も芸者の道に進むのではないかとおぼろげに思う日々でした。

しかし、6歳の時に母親を亡くし、母親がわりに育ててくれたいた祖母が芸者になることを反対したこと、また16歳の時に素敵なご縁で11歳年上のご主人に巡り合ったことから、芸者の道には進まず、3人の娘さんと息子さん1人をもうけ、子育てに励まれました。裁縫が得意で、学生時代は浴衣の早縫い競争でも一番早く、お孫さんにも浴衣を縫ってあげていたそうです。

登美子さんは大正、昭和、平成、そして令和の今を過ごし、その中でも最も印象深かったのは昭和だと言います。太平洋戦争時は、ご主人が英国大使館に勤務し

ていたこともあり、大使館に避難することもありましたが、ご主人の故郷である日光に子供達を連れて疎開し、家族全員無事に終戦の日を迎えることができました。また戦後、宮中で行われる宴会や、昭和天皇皇后陛下もご出席されるパーティーなどをご主人が取り仕切ることもあり、登美子さん自身も両陛下のお世話をさせていたなど、普通では体験できないことを経験させていただきましたと語ります。

【息子さんの誘いで渡米】

米国への移住は、登美子さんが85歳の時、息子さんが来ないかと誘ってくれたのがきっかけ。今は気候の良い場所、日本食に困ることもなく、不安もなく楽しく暮らしていると笑顔で話してくれました。来年1月28日には99歳になる登美子さん。今の楽しみは、お友達に会うことや、たまにショッピングモールにバスに乗っていくこと。そして、少々のお酒。

今日もおたふくレストランには、息子さんやスタッフ、そしてお友達に囲まれる登美子さんの穏やかな笑顔が広がっています。

鶴亀 彰

三つの呪文

《 一 番 目 の 呪 文 》

最近、私は三つの呪文を唱えています。それは日々起きる私の不安や不満、悩みを解消するためのおまじないです。凡夫の哀しき、完全に解消は出来ないのですが、少しは役立っているようです。一番目の呪文は「イキテルダケデマルモウケ」、二番目は「タルヲシナヤミヲシナイ」です。何だか分かりませんね。一番目は芸人の明石家さんまさんから学んだ言葉ですが、テレビで彼が語っていたのですが、彼は女優の大竹しのぶさんとの間で生まれた娘さんに、イキテルダケの「イ」とマルモウケの「マル」を取り、「いまる」と名付けたそうです。

もありません。全く楽しくありません。そんな時に唱えるのが「生きるだけで丸儲け」です。何のかわんと言つても、まだ生きていますし、まだ身体も動きまわります。心配しても何のプラスにもなりません。そこでこの一番目のおまじないを唱えて、自分を勇気付けています。

《 二 番 目 の 呪 文 》

二番目は「足るを知る」です。これは中国の儒学者、老子が言った言葉だそうです。身の程を知り、必要以上の欲をかかず、感謝して生きることの大切さを教えているそうです。昔、母親が「上を見ると限りなく、下を見ると限りがない」とよく言っていました。雨露が凌げ、朝昼晩の食事が出来ているのですから、満足しなければいけないのかも知れません。現在の状況を喜び、そして命があることにも感謝すべきなのかも知れません。しかし、凡夫の哀しき、

仕事は辞め、年金生活者の私としては「もっとお金があると良いなあ。お金があるとちょっといろんな事が出来るのになあ」と思う時もあります。それ以外でもいろいろ不満の思いが起きる時があります。その際にこのおまじないを唱え、あまり欲をかかないように、感謝する気持ちを持つようになると自分に言い聞かせています。

《 三 番 目 の 呪 文 》

三番目は京セラ創業者の稲盛和夫さんから学んだ「感性的な悩みをしない」です。生きていくと日々、大小の悩みが起きるものです。稲盛さんは「人間は煩惱で一杯であり、そこから多くの悩みが起きる。特にビジネス経営者にとっては会社の問題、顧客の問題、自分自身の問題、様々な悩みが毎日のごとく生じる。これは仕方のないことである。それを感性的に悩むと頭の中でグルグル回り、解決案は出てこない。悩みは理性的に悩まなければいけない。まず抱えている悩みを全部紙に書きだし、その悩みの原因を見詰める、そしてそれはどうしたら解消出来るか考えなさい。そして方法

が決まったら、すぐ行動しなさい」と彼が主宰する中小企業経営者向けの「盛和塾」で長年教えて来ましたが、現在はビジネスからは離れた私ですが、日々の生活の中で起きる悩みに対しては、いつもこの三番目のおまじないを唱え、実行するようにしています。

ちよつと余談ですが、この三番目のおまじないは「六つの精進」という稲盛和夫さんの塾生への教えの中にあります。皆さんご存知かと思いますが、稲盛さんは巨額の債務を抱えた日本航空を短期間で再生した優れた経営者としても知られています。日本航空の全社員がこの「六つの精進」を行う事で再生を果たしたそうです。

- (一) 誰にも負けない努力をする
- (二) 謙虚にしておこらず
- (三) 毎日の反省
- (四) 生きていることに感謝する
- (五) 善行、利他行を積む
- (六) 感性的な悩みをしない

生来の怠け者の私には「誰にも負けない努力をする」は未だに実践出来ていないのですが(二)から(五)はそこそこ実行しているのではと自己満足しています。現在は(六)の

「感性的悩みをしない」を努力中というところです。

《 幸福の定義 》

我が家の台所にある冷蔵庫の壁には妻が99セント・ストアーで買ったきたカレンダーが貼ってあります。それには毎月色んな警句がプリントされています。その中に「幸福は追い求めるものではない。結果として与えられるものである。幸福をいたずらに追い求める心がおうおうにして不幸の大きな原因である」というのがあります。幸福の定義も人それぞれで、一定しないものですが、普通はやはり「健康であること、お金があること、良き家族や友人があること、生き甲斐を感じられる仕事や生活があること」などでしょうか。中には「名誉や権力」を求める人もいるかも知れません。しかし、人間には常により多く、大

きく、高くと、限度を知らない欲望があり、馬の口先にぶら下げられたニンジンのように、いつまで経っても満足する幸福は得られないのかも知れません。私は『致知』という雑誌を読んでいるのですが、その中に「人生は心一つの置きどころ」という言葉を最近見つけました。そうなのかなと思います。幸福にしろ、不幸にしろ、それは私達がどう考えるかで決まるのかも知れません。

《 素晴らしきシニア 》

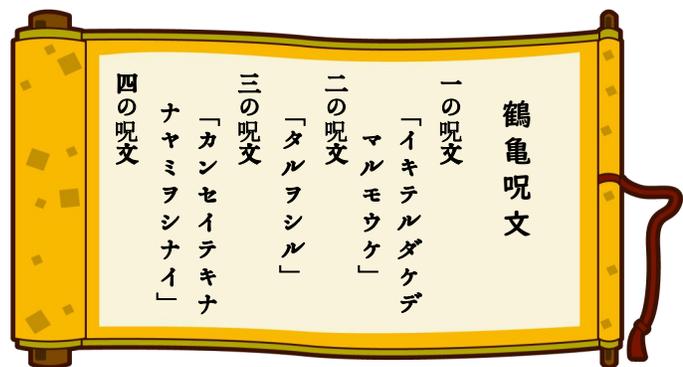
私が最近知り合った二人の女性のシニアとしての生き方に大変感銘を受けています。98歳の女性と93歳の女性です。いずれもご主人を大分前に亡くされ、車の運転も止め、一人暮らしです。しかし、寂しくはないとおっしゃいます。家に一人でいても庭いじりや読書、DVD鑑賞などで十分満足して生活していらっしゃるようです。しかし、友達との触れ合いも楽しいとして、外での出逢いも定期的になさっています。一人でも孤独を感じずに楽しむ能力と他との触れ合いを楽しむ能力、二つをお持ちです。いつも笑顔で過ごし



ていらつしゃいます。亡くなられたご主人との懐かしい思い出がお二人の心の支えにもなっているようです。

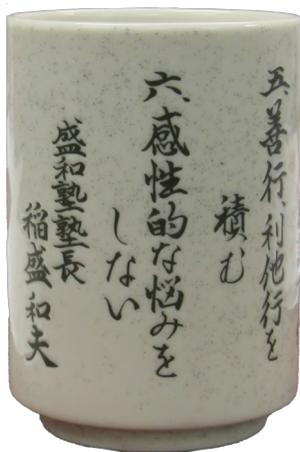
男性も負けていません。「ロサンゼルス木鶏クラブ」という前述の『致知』の読者の集いがあるのですが、そこには101歳の男性と92歳の男性も毎月ご参加です。認知症などとは程遠い、若者以上に明晰な判断力や智恵をお持ちで、いつも明るくお元気なお二人です。こちらも101歳の方は大分昔に、92歳の方は二年ほど前に奥様をお亡くしになられました。上記四人の方から受ける印象は一種の「麗しさ」です。自分を律し、悪いことはせず、ただ感謝し、人々には真心で接する生き方から生まれる、心地良さ、美しさです。年齢や性別を越えた人間と

しての美しさに、「80歳まで生きれば、もう死んでも良いか」と考えている私ですが、この四人のシニアを見て、少し考えがぐらついています。
第四番目の呪文をそのうちに考え出すかも知れません。



鶴亀呪文

- 一の呪文
「イキテルダケデ
マルモウケ」
- 二の呪文
「タルヲシル」
- 三の呪文
「カンセイテキナ
ナヤマヲシナイ」
- 四の呪文





チャランポランの会

レポート 第一回交流会



「かわら版」1号が発刊された8月1日、カリフォルニア州のトーランス市にあるNEW YORK DELIでチャランポランの会、第一回交流会が行われました。ご参加頂いた方々は男性14名、女性19名、総勢35名。経験豊かな素敵なシニアの方ばかりで、和やかに楽しいひとときを過ごしました。ご参加された皆様からチャランポランの会に色々ご提案を頂きましたので、今後の企画に役立てていきたいと思っております。

第二回交流会：2020年1月中旬、新年会を兼ねて行う予定。

詳細はEメール又は郵送にてご連絡致します。誰もが楽しく、元気になれる交流会となるよう、趣向を凝らしながら企画いたしますので、是非ご参加ください。

ロスの細道「令和」

「平成」の元号が「令和」となった。

とは言ってもここは米国はロスアンゼルス。車の運転が右側通行となったこと以外日本とほぼ同程度の生活をしているからそれなりに年号の変更も身近に感じるが、これが羅府新報もJapan TVもない地域で生活していたらどれほどの思いを持つモノだろうか。

昭和から平成に変わったときは既にロスに居たが、若かったせいもあるがあまり感傷はなかったと思う。昔は「明治、大正、昭和と3代を生きた」なんて言うトエライ年寄りと思ったが、今じゃ小生を含め周りの知人は全員この3代生きた年寄りだ(と思われる)。

先日、武田鉄矢がラジオ放送で、日本人は長生きの人種で超高齢社会を迎えているが、これが日本の再生にはいいことだと言っていた。つまり我々の年代が近々間違いなくバタバタと全滅するが、その前に入管法が改正され、単純労働者も大挙日本に移住してくる。この法律のいい悪いは見方によるが、この人たちが日本国内で日本人と結婚などを通じて子供をつくる。これからは車も人間もハイブリッドの時代。この混血こそが日本の将来を

明治・大正・昭和・平成・令和

世界に冠たるものにする原動力になるとの説。大阪ナオミ、ケンブリッジ飛鳥、御嶽海、高安、古くはハンマー投げの室伏広治。草刈正雄。女性タレントに至っては枚挙に暇無し。彼らは皆時代を先取りしたハイブリッド。

純血種だけのとき、例えば強烈な伝染病が流行るとその生物は全滅するが、混血種だとそれなりに全滅は免れるというのは周知の事実。もし日本人が若死にする寿命の短い人種で純血種のままだとしたら、ハイブリッド人種への移行が達成できない。

然り而して、我々はジジィ、ババアではあるが、トヨタハイブリッド車だけでなく日本人のハイブリッド化を完成するための大事な役割を担っているのでアル。

例え年号は令和に替わっても、マルコポーロの昔から日本はこのようジジババの国であると世界が考えていたと思う。その証拠に、我が日本を常にジジィとババアが現在進行形で営んでいる国であるとして、古来「ジジバング」と呼んできたのであるのではなかろうかと思う次第。

南亭気楽 (ナンテイキラク)

チャランポランの会

アメリカと日本で社会奉仕



EMAC主催

Coastal Cleanup Dayに参加!

9月21日午前9時、暑い日差しを浴びながらカリフォルニア州、サンペドロ市のカブリロビーチでEMAC（環境運動実践の会）の皆さんと一緒に、チャランポランの会の有志が安全で美しい海を守るため、海岸のゴミ拾いを行いました。その後、環境運動（海岸清掃、ゴミ処理場、砂漠を森にするなど）について説明を受け、とても有意義な時を過ごしました。



井之頭公園でもゴミ拾い!

10月5日、台風の影響で雨との予想とは裏腹に見事な秋晴れ! 日本在住の有志が吉祥寺駅で集合し、東京都、武蔵野市の井之頭公園でゴミ拾いを行いました。ゴミ拾いの後はビールでお疲れ様会。疲れも癒されました。



目についたゴミは拾う、ゴミを出さない努力をするなど、身近なところからできることは沢山あります。一人一人が地球環境に関心を持つことで、美しい地球を未来の子供たちに残していきましょう。

読者から

投稿・お便り



直立不動で高札を読む

静岡県
矢部正和 82歳

ちやらんぼらんって一体何？
そうだな、落語のようなもんだっ
てとこかな。

何にも分かつちやいねーようなフ
リをしながら、ちよつとでも隙を
見せると、グサツと核心をついて
くるソラツカイが、世間にはうよ
うよしているから、油断はなら
ねーってことよ。

そいつが長屋の隠居なら、0号の
高札を見ながらつぶやくだろう
な。まずは、「長生きなんかし
て、何になるんだ」と。「俺を見
ろ。長生きをした挙句の果てがこ
のザマだ」と。

「生きがいを持って人生を楽し
む」だと？生きがいがあるよう
な奴は、さっさと死んじまうも
んだ。生きがいがないから、こう
してずるずる生かされてるんじや

ねーか。

何？そんな啖呵を切れるのも、
長生きのオカゲじゃーねーのか
ど？ 馬鹿にするナイ！

健康で長生きをすることを目的
にするんだと？てめーは何の目的
も持てねーで、ただ生きてるだけ
の、虫けらみてーな奴だから、そ
んなことしか言えねーんじやー
ねーのか、エー！

苦言、提言かい。そうだな、そ
んなことはお手のもんだからな。
ネタは山ほど溜まっているしな。
何！社会奉仕だど！そんなてれく
せーことが、オレにできるとでも
思っているのか。まあ、そんなこ
とに熱を挙げられる奴は、「え
れーな」とくらは言えるが
な。

根っこがしっかりしている奴が、
ちやらんぼらんになれるはずなん
か、ありやーしねーよ！。

おめーさんは、ひよつとすると、
ちやらんぼらんの振りをしなが
ら、案外自分がしっかり者だとい
うことを、ひそかに確認して、悦
に入りにえとでも企んでいるん
じゃーねーのかエ？そんなこっ
ちやー、到底、ちやらんのカシラ
になる資格なんかはねーだろう
な。

昔っからのちやらんぼらんの王様
は、アンデルセン童話の「裸の王

様」に決まっているわな。しか

し、ちやらんぼらんの本当の意味
は、一切の邪念から脱却すること
によって、真実を直視することが
出来るということのようだぞ。そ
れができるのがシニアの特権だ、
とイイテエようだが、それなら
ば、「王様は裸だ」と叫んだ子供
の方が、ちやらんぼらんの真の達
人だということになるナー。オ
メーにその意味が分かるかい。

そういう達人になろう、というの
なら、楽なもんだぞ。ただぼーっ
として暫く目をつむって、やがて
静かに目を開けば、誰でも一廉の
達人にはなっているよ。ただ、そ
のぼーつとすることが、ただの凡
人には、難しいってことのように
がナ。

裸の王様の類のちやらんの大家と
して、生身の人名を挙げると言わ
れれば、幾らでも挙げられるが、
それは可哀そうだから止めておこ
う。

無邪気な子供とは、とにかくエ
レーもんだ。薄汚れたシニアは、
童心に帰って心の洗濯をして出直
せ、とでもいう事かな。

*投稿された矢部さんは、チャラ
ンボランの会のゴミ拾い（井之頭
公園）に参加して下さいました。



おたより

●下り人生をゆっくり、楽しく寄り道もし、出来れば、世のためにチャランポランの精神、大いに賛同します。T.K. 75歳

●シニアだから余る時間を社会貢献＝ボランティア部を創設してみたいかがでしょうか。J.Y. 86歳

●ちゃらんぼらんの「かわら版」1号を友人から見せてもらいました。素晴らしい出版物で嬉しかったので、メールしています。先ず、紙質、カラー印刷、構成、すべてよし。一気に読みました。内容も私の関心にぴったりするような記事で全部読みました。これからも続けて発行して下さいように願っています。S.K.

●なんとウィットにとんだタイトル。チャランポランの名称気に入りました。しかもシニア向けでとても嬉しい限りです。アメリカは若者の文化がメインで、淋しく思っていました。私は本が大好きです。本のことも知りたいです。K.T.

●会社を離れて人と会う機会の少ない時に、人と会うきっかけを作って頂けるよう期待しています。Y.T. 81歳

●北岡和義様の「死があつて生がある」を興味深く読みました。私の主人は肺腺癌で数年前に亡くなりました。北岡様には是非長生きしてほしいです。T.L. 79歳

●先月のお集りで、これから楽しくなるようなグループのようです。元気で前向きに志向の日々を送りたいものです。S.I. 78歳

●かわら版を読んですっかり楽しくなりました。戦後の“アプレ”と言われる世代に物心ついて委縮している私を解放してくれるかも？ C.K. 84歳

●面白そうですね。70歳以下の若い人達をシニアなどと呼ばせず、70歳までは働かせるといふ運動を盛り上げてください。

A.T. 74歳



紛失したJRパス

トランス市
山田純 86歳

年に一度の日本行きは楽しみの一つである。前半に用件を済ませると後半は地方の単線鉄道の旅は私には殊の外である。今にも廃線になりそうな、うらぶれた田舎のJR無人駅から更に他社線に乗換ええた前後の幸せは、今でも忘れられない。五月末の新緑が匂う頃だった。

JRパス使用一日目にして紛失に気付いたのは他社線の車中である。最初の停車駅に早速降りたは当然無人。周囲は見渡す限り田畑

ばかりで途方にくれる。幸いにも100メートル程先に野良仕事の男性を発見。大声で助けを求め意味が判り、軽トラで元の駅へ連れて行って貰えるのでホットする。つい余りの嬉しさに「お礼をさせて頂きますので」と老齢の男性に告げた途端、彼は「お礼のためではない」と乗りかけの軽トラから降ろされて慌てる。改めて、無礼をお詫びして再出発。始発の無人駅までは方言混じりで「紛失物は心配するな」と慰められたが心細い。

パスを探す間、駅前まで待つて欲しいと彼に依頼して無人駅内へ。やっと駅のホームで紛失パスを発見するが駅前には既に彼の姿はな

い。約二時後に折り返しワンマン電車に乗り込んで最初の停車駅に着くなり車中から件の彼を探すと、遠くから手を振っているのに気付きこちらも振り返る。が、直ちにドアは閉まり電車は次へと向かって発車。暫らく声もなく驚く。

無人駅では紛失物があるのは当然だった様で、二時間後の折返し電車で、私が通過するのと同じ畑で待つてくれたのだろう。頑固で律儀な日本人に会えて嬉しかった。国民学校時代の疎開先での想い出もこの地域だった。



シニアの気になるカフェ

< シニアが集まる『友カフェ』 >

全米でも日系人、日本人が多く住む南カリフォルニアのGardena市にあるGardena Valley Japanese Cultural Institute 略称 JCIに日系シニアの皆さんが集う『友カフェ』があります。

『友カフェ』はJCIの会員に限らず、誰でも気軽に立ち寄れるシニアの皆さんの憩いの場です。コーヒー25セント、お茶も25セント、ペストリーはベーカリーさんからの寄付なので無料です。

『友カフェ』に来られる方は、一人暮らしの方、ボケ防止にと思っている方、お友達がいない方、ご夫妻など様々です。空いている椅子に座れば、お隣さんとはもうお友達。すぐに楽しそうに歓談がはじまります。日替わりの美味しいお弁当も予約さえしていれば割安で購入できますから、心遣いが嬉しいカフェです。受付の方やお世話係は全てボランティア。その中でも積極的にボランティアをされているのは、現在86歳の山田純さん。ご本人も後期高齢者でありながら、高齢化していく日系社会のために、澁刺と行動されている活動するシニアです。

「今や日系社会も新一世を含め、高齢化が急速に進んでいる状況にあります。高齢者の孤独という障害を減らす目的もあって『友カフェ』はあります。月曜と木曜の午前9時から11時まで日本語を話したい方には私もおりますし、他にも日本語を話すボランティアの方が来ておりますので、皆さんお気軽に来てください。高齢者は誰でも“思いやりと感謝”を合言葉に参加できます。」と話してくださいました。お近くにお住まいの方、是非一度『友カフェ』に足を運んでみてはいかがでしょうか。

< JCI友の会 >

JCI友の会は、50歳以上の方を対象としたシニアクラブで、コミュニティの高齢者のために創設され、現在の会員数は約5000名、ボランティアと寄付を通してJCIに大きく貢献しています。



COFFEE, PASTRIES, & FRIENDS!
友カフェで楽しみませんか!

TOMO CAFE 友カフェ

COME JOIN US FOR TOMO CAFE
MONDAY THROUGH FRIDAY 9AM-11AM!
ENJOY COFFEE/TEA FOR 25 CENTS
AND COMPLIMENTARY PASTRIES FROM
TORRANCE BAKERY!

コーヒー又はお茶が、25セント。
ペイストリーは無料です。
是非お気軽にご参加ください。

月曜日と木曜日の朝9時から午前11時で、
日本語で語り合いを楽しむお茶の会を主催します。

GARDENA VALLEY
JCI
1964 W 162nd St.
Gardena, CA 90247
(310) 324-6611
info@jci-gardena.org
jci-gardena.org

会話が弾む『友カフェ』
に集った
皆さん。



ナルクの皆さん
による四万十バ
ッグ(新聞紙で
作るバッグ)の
講習会。



ボランティア
されている
山田純さん

JCI (Gardena Valley Japanese Cultural Institute)
1964 W 162nd St. Gardena CA 90247

川柳を楽しむ



気がつけば
秋が隣に
立っている
玲

不眠症枕いくつも買ってみる

高木子猫

眠れない眠れないわと軒かき

浜野啓子

春の午後日向に眠る祖母と猫

シマダマサコ

音低の違う眠りの協奏曲

下澤尚江

眼鏡なくレジの支払い腰抜かす

野島弘子

眼力は無いが視力は一・二

東坪上枝

ネエ起きて深夜起こされホラ白鵬

山口健

二千万\$にしたらばゼロいくつ?

ローペス文子

飲め飲めと薦められるは水ばかり

土本かほる

興奮の祭りの後のゴミの山

石口玲

「かわら版」はボランティアの方々のご支援により発行されております。従って、発行部数も限られておりますので、お読みになりましたらポイっと捨てずに、お知り合いの方にお声をかけて、お渡し下さいますようお願い申し上げます。多くのシニアの方に読んでいただけたら嬉しく思います。

お願い致します

編集後記

1年に4回だけと高を括っていた「かわら版」。しかし、月日の経つのはなんと早いことか！ 8月はチャランポランの会の第一回交流会、9月はコースタル・クリーンアップデーにチャランポランの会の有志で参加、2号の原稿締め切り直前には日本在住組が井之頭公園でゴミ拾い。そうこうしている内に、師走を迎え、令和元年を終えてしまふような勢いだ。これは若者の会ではなく、シニアである。それも後期高齢者が多いのだから目が点とはこのことかも。

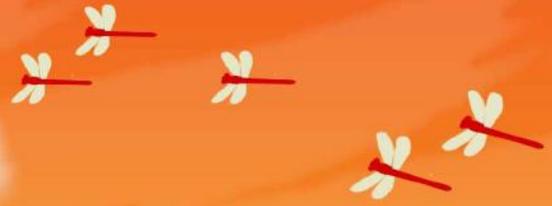
今号の座談会「終の棲家は日本か？アメリカか？」これは大変興味深い内容だった。米国に住んでいる方なら、必ず選択を迫られる問題だからだ。老いは誰にでも訪れ、避けることはできない。「住めば都」というが、長く住んでいれば「都」になるのか？ そうではない。心の持ちようが肝腎なのだ。

チャランポランの会なのに、全く「チャランポランでない人の集まり」と云う噂があるとかないとか。長い人生、真面目にこだわると窮屈で、チャランポランだけでは落ち着かない、だから、「中庸」が大切だということ。いや、年齢を重ねたらチャランポランくらいがちょうどいい。

チャランポランでない方、本当にチャランポランな方、どんな方にも喜んでもらえるのが「かわら版」。

新年号の特集は『先達への敬意と感謝、加州の大地に生きた日本人』。お楽しみにも！

(あ)



チャロンボランの会は、シニアの方
たちが、生きがいを持って、人生を楽
しみ、健康で長生きすることを目的と
しています。シニアだからこそ言える
苦言、提言、さらに、社会奉仕まで、
参加される皆様と一緒に考え、つくり
上げていく会です。

風に揺らいでいるチャロンボランな
葉っぱであっても、その木の根っこは
長い人生を歩んできた分、どっしりと
深く広がっているシニアの木。その
シニアのシニアによるシニアのため
の会報誌「かわら版」です。

今後のチャロンボランの会、並びに
「かわら版」をどうぞよろしくお願
い申し上げます。

